

JCMA 報告

中国北京 BICES 2007
出張報告

業務部

出張目的：BICES 2007 展示会に日本パビリオンを設営し、会員企業の商機の拡大に協力するとともに、協会・研究所の紹介を行った（写真—1）。

1. 開催概要

主催者：

CCMA：CHINA CONSTRUCTION MACHINERY ASSOCIATION（中国工程机械工業協会）

NCCMC：CHINA CONSTRUCTION MACHINERY CO., LTD.（中工工程机械成套有限公司）

CCPIT：CHINA COUNCIL FOR THE PROMOTION OF INTERNATIONAL TRADE, MACHINERY SUB-COUNCIL（中国国際貿易促進委員会機械行業分会）

開催期間：2007年10月16日（火）～19日（金）

会場：NAEC（NATIONAL AGRICULTURE EXHIBITION CENTER：全国農業展覽館）

会期中は好天に恵まれ、盛況な展示会となった。会場が直前に変更になったにもかかわらず、多くの企業が参加しており、屋外は特に各社がひしめき合っているのを削っていた。日本勢は現地生産品以外の輸入品も精力的に展示をしており、特に第3次排ガス規制対応の新型に力を入れていたようである。各社とも客を引き付けるための、アトラクションを派手にやっていた。

2. 特記事項

(1) 日本パビリオン

今回は、オイレス工業（写真—2）、千住金属工業（写真—3）の2社の参加であった。全体にJAPANを前面に押し出した装飾を行い、来場者の誘致を心がけた。場所も1号館入り口右側と絶好のロケーションを確保してもらい、日本パビリオンへの来場者は予想を上回るものであった。

(2) 10月15日：前夜祭

会場隣の長城シェラトンホテルで開催され、約500名の招待客が招かれた。出展者の一部、政府、業界関連団体、各国大使館員、メディア等が主な招待客であった。

席上主催者から、次回からメッセミュンヘン（BAUMA）と国際協力関係を結び、メッセが中国以外の出展及び来場者の誘致に全面的に協力する旨の発表が行われた。

同夜は出展者関連団体への表彰が行われたほか、各国パビリオン（日本も含み）の表彰があり、記念の



写真—1 日本建設機械化協会



写真一 2 オイレス工業(株)



写真一 3 千住金属工業(株)



写真一 4 開会式風景



盾が贈られた。各種アトラクションも用意されて、食事も中華料理が供された。最近の中国の勢いを感じさせる豪華なものであった。

(3) 10月16日：開会式

会場1号館入り口にて行なわれ、主催者からの挨拶、政府関係者からの祝辞が披露された。JCMAを始め、各国展示会主催者は壇上に招待された。

初日の来場者は非常に多く、協会ブースにも中国の研究所や、研究機関等の来訪が多く、彼らが開催する会議、シンポ等に日本からの参加を求める声が多く、日本から最新の情報を吸収しようとする意気込みを強く感じた。

それ以外にも、一般の来場者でも、他の展示会と異なり協会の活動に興味を示す人が多かったのが印象的であった。

今回会員企業のカタログ配布を前回同様に行った(新潟トランス、三井三池製作所、東邦地下工機の3社で各社200部を限度として持参した)が、三井の総合カタログ50部は初日で品切れとなる盛況であった。

今回は、急遽予定会場が変更となり、従来使用して



写真一 5 開会直後の混雑

いた農業展覽館となり、面積が狭かったこともあり、混雑感が増したのかもしれない(写真一5)。

(4) 10月17日

初日に比べると人出は少なく感じたが、それでも会員企業のカタログは一部を除き全て200部が品切れとなった。

日本パビリオンに参加した千住金属は2日目のほうが、実質的な話が多かったと手ごたえを感じていた。

出展者歓迎会(夜)——前夜祭とは別に、出展者を

招待した晩餐会が催された。会場には約 2000 名の席が用意され 60～70%が埋まっていたので、1200 名程度の参加があったと思える。

(5) 10月18～19日

両日ともに、来場者は減少傾向であったが、協会の用意したパンフ 400 部は配布制限を行う必要があったほどよく配布できた。最終日午前中には準備したものを全て配布完了であった。

3. その他

(1) 各国パビリオン

国として参加していたのは、イギリス、スペイン、韓国、日本であった。中でも韓国は 400 m² 以上のスペースを確保し、大掛かりな出展であった（写真—6～9）。

(2) 日系企業出展者

コマツ、日立建機、コベルコ、鉦研、前田製作所、



写真—6 韓国パビリオン



写真—7 英国パビリオン



写真—8 スペインパビリオン



写真—9 日本パビリオン（1号館入り口から）



写真—10 コベルコ



写真—11 コマツ



写真-12 日立建機

(3) 現地メーカー



写真-14 河北宣工



写真-13 ヤンマー



写真-15 天津建築機械

いすゞ，ヤンマー，竹内，ナブテスコ，NTN，NOK，田中鉄工，コベルコクレーン，タダノ，酒井重工業，オイレス工業，千住金属 JCMA の18社・団体であった（協会調べ）（写真-10～13）。

(4) 各種セミナー

10月17日に日本，中国，韓国の3カ国によるクレーン協会シンポジウムが開催され，日本からも参加者があった。

会期中には，各団体，出展者によるセミナーが開催され，全部で17の開催があった。

メッセミュンヘンは16日にBAUMA CHINAのプレス会議，AEMは17日に，CONEXPO ASIAとCONEXPO LAS VEGASのプレス会議を開催した。

JCMA

文責：JCMA 業務部 国際業務担当部長 天野裕一